北海道公立大学法人札幌医科大学 医学部 〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目 TEL:011-611-2111(代表)

●基礎医学部 講座	役職	氏名	研究
解剖学第二	准教授 講師 助教 助教	松村 博文 永石 歓和 鈴木 大輔 安宅 弘司	・骨髄細胞に秘められた多くの可能性 ・脳と腸の機能相関 ・生物人類学 ・比較解剖学・バイオメカニクス一腱/靱帯の再生メカニズムの解明 ・骨髄間葉系幹細胞治療 ・脳・骨髄相関
神経科学	教授 准教授 講 動 動 教	長 藤 寒 戸 澤 果 場 で 器 で る れ る で れ り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	・学習の神経機構, ・シナプスの可塑性 ・ラット脳スライスを用いた抑制性シナプス伝達様式の海馬内領域差 ・くも膜下出血後の脳血管攣縮におけるR型カルシウムチャネルの出現
医化学講座	教授 准教教 助助 助教	黒木 由夫 高橋 素子 西谷 千明 有木 茂 長谷川 喜弘	・自然免疫の分子機構 ・生体防御レクチン(コレクチン)の構造と機能・病態医化学 ・N型糖鎖によるシグナル受容体の制御機構 ・異所性に発現している肺コレクチンの生体防御機能 ・細胞内寄生細菌に対する肺コレクチンの生体防御機構 ・肺コレクチンと抗菌ペプチドの相互作用 ・肺コレクチンによるEGFシグナルの制御機構
医学部分子生物 学講座	教 講 助 助 教 教 教	鈴木 拓 甲斐 正広 山本 英一郎 丸山 玲緒 佐藤 亜紀子	・癌エピジェネティクス ・消化器病学 ・脂質代謝酵素の機能解析 ・細胞のがん化に関わるタンパク質の機能解析 ・消化器癌の発生メカニズムの解明と臨床応用 ・正常/癌幹細胞のエピジェネティクス、 ・次世代シークエンサーを用いたエピゲノム解析 ・悪性黒色腫の発癌機序の解析と新規治療法の開発
病理学第一講座	教授 准教師 動助 特任 助教 生助教	佐鳥田廣塚金財橋原関東後保良智貴	 ・腫瘍と免疫学 ・ストレスバイオロジー ・分子シャペロン / HSP ・癌幹細胞 ・骨軟部腫瘍 ・抗原提示 / プロセシング ・ヒトをもと / 1 7 8 0 / 2 15 20 4 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20
病理学第二講 <u>座</u> 衛生学講座		- 小林 宣道 鷲見 紋子 漆原 範子 ゴッシュ ソウ ビック	・A群ロタウイルスの分子疫学的研究 ・B群ロタウイルス、C群ロタウイルス、新種ロタウイルス ・ロタウイルスの分子遺伝学 ・その他の下痢症ウイルス ・黄色ブドウ球菌(MRSAを含む)、コアグラーゼ陰性ブドウ球菌の薬剤耐性と分子疫学
公衆衛生学講座	教授 准教授 准教授 講師 兼任講師 助教	a森坂大園 中野 男文子美寛 明文子美寛 明文子美寛 明文子美寛 田田田 田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	・原発性胆汁性肝硬変の北海道の臨床調査個人票を用いた記述疫学研究

講座 役職 氏名 研究 内科学第一講座 教授 篠村 恭久 本教授 海標 海標 本教授 高橋 裕樹 ・バレット食道の分子生物学的検討 ・消化器癌の発生と進展の分子病態解明 ・消化器癌の発生と進展の分子病態解明 ・マイクロサテライト不安定性(microsatellite instability; MSI)を中心と したDNA修復異常と消化器発癌研究 ・MSI陽性胃癌と抗癌剤感受性 ・細胞外基質分解酵素(matrix metalloproteinase; MMP)を中心と ・細胞外基質分解酵素(matrix metalloproteinase; MMP)を中心と した浸潤・転移機構の解明 ト浸潤・転移機構の解明 トラブラ ・ボルナを持ちます。 ・ボルナを持ちまするます。 ・ボルナを持ちまするます。 ・ボルナを持ちまするます。 ・ボルナを持ちまするまするます。 ・ボルナを持ちまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするま	●臨床医学部			
准教授 高橋 裕樹 ・バレット食道の分子生物学的検討 准教授 石田 禎夫 ・消化器癌の発生と進展の分子病態解明 清師 有村 佳昭 ・マイクロサテライト不安定性(microsatellite instability; MSI)を中心と したDNA修復異常と消化器発癌研究 ・MSI陽性胃癌と抗癌剤感受性 ・細胞外基質分解酵素(matrix metalloproteinase; MMP)を中心と した浸潤・転移機構の解明	講座	役職	氏名	研究
助教 一 一 一 一 一 一 一 一 一		教准准講講講助助助助助授教教師師師教教教教教教教教	篠高石有佐山林山高山能村橋田村々本 敏下木本正恭裕禎佳 木 博昭健秀元勝久 樹夫昭茂幸 太安久彦久 樹夫昭茂幸 郎	◆消化器関連 ・バレット食道の分子生物学的検討 ・消化器癌の発生と進展の分子病態解明 ・マイクロサテライト不安定性(microsatellite instability; MSI)を中心としたDNA修復異常と消化器発癌研究 ・MSI陽性胃癌と抗癌剤感受性 ・細胞外基質分解酵素(matrix metalloproteinase; MMP)を中心とした浸潤・転移機構の解明 ・血管新生依存性からみた大腸癌および肝転移巣の増殖様式の検討 ・消化器癌におけるエピジェネティックな異常の解析 ・ヒストンアセチル化による細胞死のメカニズムの解明

講座	役職	氏名	研究
			◆血液関連 ・ALアミロイドーシスにおけるsiRNA治療
			・多発性骨髄腫におけるアポトーシス関連遺伝子のメチル化の検討
			◆膠原病・リウマチ関連 ・プロテインチップを用いた新しい膠原病のバイオマーカーの開発
内科学第二講座	教授	三浦 哲嗣	・ミクリッツ病の病態解明と対応抗原の検討 ◆高血圧グループ
711イナお一時圧	教授(病院	土橋 和文	◆心機能グループ
	経営・管理 学)		◆虚血性心疾患グループ ◆疫学グループ
	講師講師	橋本 暁佳 三木 隆幸	
	講師	吉田 英昭	
	講師 助教	丹野 雅也 下重 晋也	
	助教 助教	古橋 眞人 國分 宣明	
	助教	村中 敦子	
	助教 特任助教	石村 周太郎 赤坂 憲	
	特任助教 教授(保健	神津 英至 斎藤 重幸	
	医療学)		
	兼任准教授 (北海道立	中田智明	
	江差病院院 兼任准教授	大邢 浩文	
	(公衆衛生	八百	
	学) 任講師(救	長谷 守	
	急医学) 兼任講師	湯田 聡	
	(臨床検査		
	兼任助教 (薬理学)	久野篤史	
	兼任助教 (北海道立	伊藤孝仁	
	心身障害者 総合相談		
	兼任助教	佐藤達也	
内科学第三講座	(細胞生理 教授	高橋 弘毅	 ◆間質性肺炎・肺線維症
	准教授 准教授(兼)	山田 玄	・肺サーファクタント特異蛋白質(Pulmonary Surfactant Proteins)と 間質性肺炎
	講師	千葉 弘文	・アンジオテンシン受容体拮抗薬による間質性肺炎・肺線維症の治療応用
	助教 助教	工藤 和実 猪股 慎一郎	◆アレルギー性肺疾患 ・気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患(COPD)
	助教 助教	藤井 偉 大塚 満雄	・慢性咳嗽・過敏性肺炎・マイコプラズマ肺炎
	助教 助教(兼任)	黒沼 幸治	◆肺癌
	助教	北田 順也 北村 康夫	◆呼吸器感染症
	助教 助教(兼任)	宮島 さつき 長谷川 喜弘	
内科学第四講座	教授 准教授	加藤 淳二 小船 雅義	・ウイルス肝炎からの肝発がん機序 ・除鉄療法による肝発がん制御法
	講師	瀧本 理修	・難治性の造血障害を治癒させるような画期的な治療法の開発
	講師 講師	佐藤 康史 宮西 浩嗣	・癌の分子標的治療の開発 ・癌における情報伝達機構の異常の解明、抗がん剤耐性機序の解明
	講師講師	佐藤 勉 林 毅	・悪性腫瘍に対する腫瘍特異的な遺伝子導入発現法の開発 ・あらたな分子標的によるDDSを利用した腫瘍targeting法の開発
	助教	井山 諭	・AML1/ETOやAML1/Evi1など、白血病の原因となる遺伝子異常の解明
	助教 助教	高田 弘一 河野 豊	・悪性リンパ腫 ・癌の分子標的治療の開発
	助教 兼任助教	石渡 裕俊 大沼 啓之	・癌特異的薬物導入法の開発
	小川川州	ハル コん	

講座	役職	氏名	研究
神経内科学講座	教講講助助兼助授師師教教任教助教任教教	下今川久齊林山濱井又原藤,内富善正貴理俊裕純真樹士香	◆電気生理学的研究 ・筋萎縮性側索硬化症やポリオ後症候群の呼吸障害の病態解明への横隔神経伝導検査の臨床応用 ・経頭蓋的磁気刺激の中枢性疼痛治療への応用 ・三叉神経刺激による咬筋反復刺激検査の臨床応用 ◆神経治療学的研究 ・神経変性疾患における呼吸障害と治療法の検討・・ ・務萎縮性側索硬化症の呼吸不全に対する非侵襲的呼吸療法の検討・ ・多系統萎縮症の睡眠時声帯開大障害の病態生理と治療法の研究 ◆神経生物学的研究 ・薬理学教室との共同研究でヒストン脱アセチル化酵素SIRT1の未分化神経系細胞における役割について解析し、未分化細胞の増殖,分化に重要であることを明らか・神経変性疾患や脳血管障害の治療戦略に応用可能かについて検討・免疫介在性神経疾患である多発性硬化症において髄鞘蛋白質を産生しているオリゴデンドロサイトが異常免疫反応の標的となって何らかの機能不全に陥っていることを想定し、その細胞死のメカニズムについて検討 ◆神経化学的研究 ・剖検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学的研究 ・剖検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学的研究 ・剖検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学的研究 ・ 剖検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学の研究 ・ 部検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学の研究 ・ 部検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学の研究 ・ 部検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学の研究 ・ 部検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学的研究 ・ 部検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学の研究 ・ 市検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学の研究 ・ 市検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学の研究 ・ 市検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学の研究・ 市検脳を用いたプロテオーム解析による病態生化学の研究・ 市検脳を開いたアルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側素硬化症の原因遺伝子導入細胞・動物を用いた原因遺伝子産物の病態生理における役割および疾患の発症機序の解明
外科学第一講座	教教准准講講特兼助助助助助助助赞授教教師師任任教教教教教教教教教教教教教教教教教教	平傳古水木信前異鈴目今沖川九田野畑口村岡佛博木黒村田本冨公隆智徹康隆均臣や誠将憲雅五一一久 利幸 よ 史司樹郎	 ・侵襲と生体防御反応、侵襲と栄養 ・肝臓 (移植 再生) ・癌転移細胞株の樹立 ・消化器癌予後因子の検索 ・新規腫瘍関連遺伝子マーカーの確立
心臓血管外科学 講座	教准准准講助助助助助授教教教師教教教師教教教教師教教教教教教教教教教教教	極渡栗川伊高小宮奈船 哲敦義 寿伸哲正 西 大神 大神 大神 大神 大神 大神 大神 大神 大神 大神 大神 大神 大神	◆心臓・血管チーム ・脊髄虚血予防に関する臨床研究 ・ホモグラフトに関する臨床研究 ◆呼吸器外科チーム ・肺癌における遺伝子解析研究 ・Nuss手術における術前、術後の肺体積変化の臨床的研究
整形外科学講座	教特(推特(運開准講講講助助助助助助助助助助別授任道進任生動発教師師師教教教教教教教教教教教教医学教工器)授教医)授工治授療、授学療	「山和 名 射竹村渡金吉廣井佐寺相大入岡下田 越 場林上邉谷本瀬田々本馬坪船崎駅敏卓 智 浩庸孝耕耕三聰和木篤有英仁一彦郎 介雄徳太平徳明功幹史 則 郎	●降性グループ・顕微鏡や内視鏡を用いた新しい低侵襲手術における術後疼痛の程度や社会復帰の時期、長期臨床成績の研究・腰椎分離症の発生頻度がどの程度であるかについての疫学的調査(共同)・MRI拡散強調像による腰椎神経根像の検討(共同)・手の外科・肘関節・上腕骨外上顆炎の病態解明・拘扼性末梢神経障害における拡散強調MRIを用いた病態診断の試み・肩関節外科・関節鏡手術・腱板断裂の修復後の経時的変化・腱板断裂の修復後の経時的変化・腱板断裂の形態やそれに伴う骨の形態変化・膝板断裂の形態やそれに伴う骨の形態変化・膝関節外科・足の外科・人工関節のより正確な設置を目指した研究やこの手術の問題点の一つである出血量を減少させる試み・前十字靭帯損傷における解剖学的再建術と半月板温存手術の研究・早期スポーツ復帰に向けたリハビリプログラムの開発・ 股関節外科・できるだけ股関節周囲の筋肉を切離しないで人工股関節を挿入する前側方アプローチ低侵襲手術・上記手術方法の利点を、1)疼痛の程度、2)活動レベル、3)長期成績にターゲットを絞り研究を進めている。

講座	役職	氏名	研究
			◆ 骨軟部腫瘍 ・高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究 ・滑膜肉腫症例に対するペプチド療法
			○基礎 ◆育稚・電気生理グループ ・脊柱・関節における感覚受容器の神経生理学、痛みの発生メカニズム ◆骨軟部腫瘍グループ ・骨軟部肉腫に対するがんワクチン療法の開発(共同) ・診断の一致率が高くなるように組織形態学的な指標を作成し検討、またFISH (fluorescence in situ hybridization)解析を用いての遺伝子学的な検索(共同) ◆下肢・バイオメカニクスグループ ・未固定凍結標本を使用した、運動器の機能解剖や動的解析 ・膝関節、手関節、肩関節の動的解析 ・肢位による神経の伸張率の解析
			骨代謝グループ ・ヒト由来の骨芽細胞様株を使用した培養システムを樹立し、培養細胞を用いた実験で骨芽細胞の分化や石灰化過程に関与する分子の検討 ・骨芽細胞がタイト結合関連蛋白を発現し、分化過程においてその発現が変化することを発見 ・卵巣摘除マウスを用い、リベロマイシンAの持続投与を行ったところ、骨量減少の抑制が確認され、治療薬として有用である可能性が示唆された。
脳神経外科学講 座	教准講講助助兼助教ン助 授教師師教教任教の教 授 がの が が の 教 の の の の の の の の の の の の の の	三鰐三秋飯村吉宮 國渕上山星上藤田 間島毅幸智友和圭 敏啓彦 功史宏久 美	一
産婦人科学講座	教准准講講講講兼助助助助助財授教教師師師師任教教教教教授授授師師師師師師師師師師報教教教教	齋伊遠石岩馬田林長高明寺森藤東藤岡崎場中卓澤橋石本下豪英俊伸雅剛綾宏邦円祐瑞美樹明一宏 一彦 史絵幸	
小児科学講座	兼教講講助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助助	久 堤要畠鎌畠堀二堀須野 務山崎山 階田見芳幸裕直穂欣 宮 とは とり はんしん いんしん いんしん はんしん おいん いんしん はんしん かんしん はんしん かんしん かんしん かんしん かんしん か	◆感染・免疫グループ ・小児の呼吸器感染ウイルスで重要なRSウイルス、アデノウイルス、サイトメガロウイルス、また骨髄移植患者に顕在化するBKウイルスの分子疫学など ・然免疫において重要な役割を担っているToll-like receptors (TLRs)のRSウイルス感染に及ぼす影響について、特にdsRNAを認識するTLR3に着目した研究 ・ヒトパルボウイルスB19についての分子疫学を中心とした研究 ・セトパルボウイルスB19についての分子疫学を中心とした研究 ・血液・腫瘍グループ 〇臨床 ・同種造血幹細胞移植 ・難治性悪性固形腫瘍に対して個室で自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を行っている 〇基礎 ・移植片対宿主病(共同) ・幹細胞移植時の免疫抑制状態でのウイルス感染や再活性化等に関する研究(共 ・循環器グループ ・先天性心疾患、小児の後天性心疾患(心筋疾患、不整脈、川崎病冠動脈障害、その他の炎症性心血管疾患など) ・神経・筋グループ ・てんかんの病態と治療に関する研究

講座	役職	氏名	研究
			・デジタル脳波計を用いた発作時脳波ビデオ同時記録をルーチン化しており、MRI、 SPECTなどを活用したてんかんの病因検索が進められている。 ・神経筋疾患については、筋生検を積極的に行い、免疫組織化学的に検討してい
			◆内分泌グループ ○臨床 ・小児肥満・糖尿病における動脈硬化の検討 ・ヨード欠乏性甲状腺機能低下症の検討 ・中枢性思春期早発症に対するGnRH治療効果の評価法の検討
眼科学講座	教准准講助助助助助野授教教師教教教教教教教教教教教教教教教	大大橋石川田前小鶴黒庭本川田中田林田 浩正雅太浩祥貴和み 裕人 克恵美夫 がんしゅう	一
皮膚科学	教准講助助助助助財授教師教教教教教教	山小米澄肥筬加菅河下野田川田井藤裕河一明靖時泰潤司	○基礎 ・メラニン合成の生化学的および分子生物学的研究 ・システアミニールフェノール・マグネタイトナノ微粒子によるメラノーマの実験治療 ・色素性乾皮症の遺伝子診断と紫外線発癌の研究 ・悪性黒色腫(メラノーマ)の細胞遺伝子と増殖制御機構の研究 ・創傷治癒の遺伝子治療 ○創傷治癒関連研究 ○臨床 ・悪性黒色腫の診断と治療 ・メラノーマ(悪性黒色腫)のセンチネルリンパ節生検 ・イミキモドによる皮膚癌治療 ・増殖因子による瘢痕、ケロイド、紫外線障害皮膚の改善効果に関する臨床研究 ・レーザー装置による先天性色素異常、血管腫治療
泌尿器科学	教准講講助助助助授教師師教教教教授授	塚舛高北田福西小本森橋村中多山林泰直聡寛俊史直皇 司哉 明昌隆	◆腫瘍 ○基礎 ・腎細胞がんにおけるPHD3の機能解析 ・TFE3関連腎がんの生物学的特徴と遺伝子プロファイルの解析 ・腎がん細胞に対するインターフェロンα・分子標的治療薬の作用 ・腎がんに対する分子標的治療がもたらす免疫学的効果の解析 ・膀胱がんにおけるmicroRNAの発現とゲノム構造異常の研究 ○トランスレーショナル・リサーチ(橋渡し研究) ・泌尿器がん患者におけるリンパ球のプロファイルおよび機能解析 ・各種泌尿器がん(腎がん、膀胱がん、腎盂・尿管がん、前立腺がん、精巣がんなど)におけるがん抗原および新規バイオマーカーの探索 ・各種泌尿器がん(腎がん、膀胱がん、腎盂・尿管がん、前立腺がん、精巣がんなど)細胞におけるHLA class I発現低下の生物学的・臨床的意義に関する研究 ・腎細胞がんにおけるHAP family分子livinを標的としたがん免疫療法の樹立に関する研究 ・腎細胞がんにおけるHIFPH3を標的としたがん免疫療法の樹立に関する研究 ・腎細胞がんにおけるHIFPH3を標的としたがん免疫療法の樹立に関する研究 ・進行腎がんに対する分子標的療法 ・TFE3関連腎がんの臨床病理学的検討 ・小径腎がんのマネージメントに関する臨床的検討 ・進行性腎細胞がんに対するsunitinib, sorafenibクロスオーバー、ランダム化試験(多施設共同研究)
耳鼻咽喉科学	教准講助助助助助授教教教教教教教教教教	水白郷才近黒高関大見崎充川藤瀬野伸國 大明 子 大明 子 大明 子 大明 子	・腎細胞がん患者を対象とした天然型インターフェロン α +ソラフェニブ併用療法の有効性および安全性の検討(多施設共同研究) ・人工内耳 ・鼻アレルギー ・頭頚部腫瘍 ・閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS) ・扁桃 ・鼻粘膜上皮細胞を用いたタイト結合の研究 ・甲状腺 ・IgG4関連疾患 ・IgG4関連疾患

講座	役職	氏名	研究
神経精神医学	教授 准教授	齋藤 利和 橋本 恵理	・脳の神経回路網の修復と再生の機序解明から一新たな診断機器,治療法の 提供へ一
	講師	鵜飼 渉	•Research on Depression
	助教 助教	山川 友子 佐々木 竜二	Research on Schizophrenia Research on Alcoholism
	助教	吉永 敏弘	•Functional Analysis of ApoE
	助教 助教	小林 清樹	*Biological Analysis of Eating Disorder
放射線医学	教授	<u>畠山 茂樹</u> 晴山 雅人	◆放射線治療
(放射線治療)	准教授	坂田 耕一	・放射線誘発アポトーシスの観点から放射線障害の修復機構、放射線抵抗性獲得機度の発明の研究
	助教 助教	染谷 正則 中田 健生	機序の解明の研究 ・放射線とJNK活性を主としたアポトーシスとの関連
(放射線診断)	講師	兵頭 秀樹	・放射線感受性の指標となるDNA-PKの研究
	講師 助教	玉川 光春 兵頭 かずさ	◆IVR ・肝腫瘍に対する新しい非手術的治療法
(-, (-)	助教	山 直也	・胆道・血管に対する新しいステントの開発
(IVR)	助教	廣川 直樹	◆核医学 ・非線型マルチコンパートメントモデルによる放射性薬剤の動態解析と臓器機能の推
			定→肝切除の際の肝予備能の予測や心臓核医学の臨床的研究
麻酔科学	教授 准教授	山蔭 道明 今泉 均	呼吸、循環、疼痛、麻酔薬、麻薬、筋弛緩、敗血症
	准教授	成松 英智	
	准教授 講師	山内 正憲 升田 好樹	
	講師	新山 幸俊	
	講師 助教	枝長 充隆 杉野 繁一	
	助教	新谷 知久	
	助教	岩崎創史	
	助教 助教	平田 直之 吉田 真一郎	
	助教	時永 泰行	
	特任助教 特任助教	水口 亜紀 杉目 史行	
地域医療総合医	教授	渡邉 直樹	-
学	講師講師	湯田 聡 小林 大介	
	講師	栗林 景晶	
	助教 助教	田中 真樹 大沼 啓之	
救急•集中治療医		浅井 康文	-
学	准教授 准教授	今泉 均 成松 英智	
	准教授	栗本 義彦	
	講師講師	森 和久 長谷 守	
	講師	丹野 克俊	
	講師 助教	巽 博臣 宮田 圭	
	助教	入船 秀仁	
	助教 助教	原田 敬介 前川 邦彦	
	助教	喜屋武 玲子	
	助教 兼任助教	君島 知彦 沢本 圭悟	
口腔外科学	教授	平塚 博義	〇 臨 床
	准教授 准教授	永井 格 宮崎 晃亘	・進行癌ペプチド療法:口腔がんにおけるペプチドワクチンについての研究 ・下顎第3大臼歯と下顎管の位置関係と合併症の発生率に関する研究
	講師	仲盛 健治	・下顎非対称についての研究
	助教 助教	三木 善樹 出張 裕也	○基礎
	助教	安倍 聖人	・口腔がんにおいて低酸素領域が抗癌剤感受性に与える影響についての研究
	助教	荻 和弘	・・ロ腔がんにおけるwnt/β-cateninシグナルと上皮間葉移行に関する研究・がん微小環境におけるグルコース濃度が抗癌剤感受性に与える影響についての
			研究
			・口腔扁平上皮癌におけるDkk遺伝子のエピジェネティックな不活化に関する研究
			・ERストレスが口腔がんに与える影響についての研究

講座	役職	氏名	研究
リハビリテーション 医学	,教授 講師 助教 兼任助教 特任助教	石村土橋本青 村上岐本間木 連二 本間本 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	・脳血管障害,外傷性脳損傷 ・高次脳機能障害 ・脊椎・脊髄疾患 ・関節疾患,骨折,靭帯損傷 ・慢性疼痛 ・切断ならびに再接着 ・多発外傷,熱傷 ・慢性閉塞性肺疾患など呼吸器疾患 ・神経筋疾患(小児を含む) ・義肢・装具,シーティング・車いすクリニック ・スポーツ外傷

●学科目(基礎・	·臨床)		
講座	役職	氏名	研究
医科知的財産管 理学	教授	石埜 正穂	・医療関連技術の特許制度による有効な保護と活用に関する研究 ・再生医療における生体材料の保護/手術・治療方法の保護/革新的医療技術の 保護 ・医学研究分野における産学連携システムの構築 ・医療イノベーションを効率的にすすめるためのインフラ構築
病理診断学	教授 助教 助教 兼任助教	長谷川 匡野口 寛子中西 勝也荻野 次野 本村 幸子	・骨軟部腫瘍の病理診断精度向上
産科周産期科学	-	_	産婦人科学講座に同
呼吸器外科学			心臓血管外科に同

●フロンティア医	一一一		
講座	2 子 妍 先 別 役職	氏名	研究
分子医科学部門	准教授 講師	谷口 雅彦 幸野 貴之	・神経回路形成におけるセマフォリンの分子機構
ゲノム医科学部 門	教授 准教授 助教	時野 隆至 佐々木 泰史 井戸川 雅史	・ヒト悪性腫瘍の発生機構の分子遺伝学的および分子生物学的研究 ・癌抑制遺伝子p53の機能解明および癌治療への応用 ・p53転写制御因子ファミリーの機能解明 ・プロテオミクスを用いた癌関連シグナル伝達の解析 ・p53とmiRNAによる癌治療法の開発
組織再生学部門	教授 講師 助教	三高 俊広 谷水 直樹 竹田 寛	 ・小型肝細胞の増殖と成熟化機序 ・肝幹細胞の移植による肝細胞置換 ・肝幹・前駆細胞を用いた in vitro 肝組織形成 ・肝臓の幹細胞システムの解明と胆管組織形成を制御する機序 ・in vitro 胆管形成
遺伝子工学部門	助教	山口 美樹	・遺伝子治療・再生医療のための基盤技術の開発 ・癌に対する遺伝子治療法の開発 ・難治疾患に対する遺伝子治療・再生医療の開発
病態情報学部門	教授 教授(兼) 講師 助教	小海 康夫 相馬 仁 今井 伸一 武井 則雄	 ・病態における蛋白質のプロファイルをプロテオミクスにより構築し、診断と治療に直結する病態マーカーを同定している。 ・分子標的治療を目指して遺伝子組み換えマウスを独自に作出し、治療モデルを開発している。 ・研究支援システムの開発と研究支援
神経再生医療学部門	教講講特特特特特特 授師師任助助教教教教教教教教教教教教教	本佐の野本 佐の野々 大寺木 秀隆 中村永 (山東) 大塚(山子) 南 いく子	 ・幹細胞の増殖・分化に関する研究 ・幹細胞の分化制御に関する研究 ・障害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究 ・幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究 ・各種脳神経疾患への臨床研究 ・細胞治療の効果判定の為の新しい方法の研究 ・再生医療の推進の為の基盤整備に関する研究 ・臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する研究